

Campus Today



松本歯科大学
発行所 学校法人 松本歯科大学
長野県塩尻市広丘郷原1780
☎ (0263) 52-3100
www.mdu.ac.jp
1部60円

満開の桜に囲まれ松濤祭賑わう



大勢の観客が集まったタレントの島田さんによる「手相占い」トークショー

ソメイヨシノが咲き誇るキャンパス 多彩なイベントを通じ地域の人々と交流

晴天に恵まれた4月20日(土)、ソメイヨシノが満開の本学キャンパスで第34回大学祭「松濤祭」が開かれた。テーマは地域との繋がりを目指した「CONNECTING」。シンガーソングライター井上苑子さんによるスベシヤルライブや長野県出身のタレント島田秀平さんのトークショー、松本蟻ヶ崎高等学校書道部による書道パフォーマンスなど、幅広い世代が楽しめる多彩なイベントを実施して、大勢の来場者で賑わった。

松濤祭はここ数年、大学主催の観覧会と同時開催されてきたが、今回は単独開催となったため、実行委員長の町野惇君(第3学年)をはじめとする学生スタッフたちは、集客力のある企画・構成を組んだ。メイン会場を患者専用第2駐車場に設定し、ソメイヨシノに囲まれるように特設ステージと各種模擬店を配し、中央にはテーブル・椅子を並べて、桜を堪能しながらゆっくりイベントを楽しめる会場レイアウトにした。

歯学部と衛生学院の学生が運営する模擬店は、ワッフルや焼きそば、タピオカドリンクといった飲食物や、的当て、スーパーボールすくいなどの遊戯のほかに、指の石膏模型づくりやインスタントカメラ撮影、アクセサリーの加工販売など多岐にわたった。学生たちは、訪れた大勢の人々に笑顔で応対し、食べ物や品物を供していた。

衛生学院3年生によるブラッシング指導には多くの家族連れが訪れ、子どもたちにもブラッシングするとともに保護者に正しい磨き方を説明した。歯科矯正学講座の教員らは歯科相談ブースを設け、歯列矯正などの質問に応じた。

午前11時から、手相占いという名称で、健康で長生きするとそれだけ財産が入ってくるという考えが広がっていました。そう考えると健康なかなと思いませんか」と話し、観客は自身の手のひらと見比べながら熱心に聞き入っていた。

大道芸パフォーマンスの午前11時に登場した健山さんは、アニメ番組の主題歌に合わせて踊り、高所でのアクロバットなどダイナミックなショーを披露。

午後1時より行われた松本蟻ヶ崎高等学校書道部の書道パフォーマンスでは、はかま姿の部員30人が音楽に合わせて踊りながら筆を走らせた。縦4メートル、横6メートルの専用紙に松濤祭のテーマにちなんだ言葉を躍動感あふれる筆致で一気に書き上げ、観客から拍手喝采を浴びていた。

午後の部ではコキさんが水晶玉を使用したジャグリングやマジックなど、さまざまなレパートリーで観客を楽しませた。

午後1時より行われた松本蟻ヶ崎高等学校書道部の書道パフォーマンスでは、はかま姿の部員30人が音楽に合わせて踊りながら筆を走らせた。縦4メートル、横6メートルの専用紙に松濤祭のテーマにちなんだ言葉を躍動感あふれる筆致で一気に書き上げ、観客から拍手喝采を浴びていた。

午後の部ではコキさんが水晶玉を使用したジャグリングやマジックなど、さまざまなレパートリーで観客を楽しませた。

午後の部ではコキさんが水晶玉を使用したジャグリングやマジックなど、さまざまなレパートリーで観客を楽しませた。



大道芸に拍手喝采(上)、模擬店では笑顔で応対(左)、書道パフォーマンス(右)

地域の警察署や消防署の協力を得て、交通安全体験車「チャレンジャー」や救急車、消防車も展示され、子ども連れに人気を博していた。

松濤祭のラストを飾ったのはシンガーソングライター井上苑子さん。女子中高生を中心に人気を集める井上さんは、自らギターを演奏しながら5曲を熱唱するスベシヤルライブで集まった観客を魅了した。

また、大学病院1階エントランスではPHILIPS協賛による第3回MDUSマイルフォートコンテストの表彰式が行われた。県内外より34作品の応募があり、「みがいてニッコリ部門」「桜スマイル部門」「ナイススマイル部門」の各受賞者に音波歯ブラシなどの景品が贈られた。青空の下、ソメイヨシノに彩られ、学生スタッフと来場者が一体となって楽しめた学園祭となった。町野実行委員長は「多くの方にお越しいただき、とても嬉しく思います。これを機に大学と地域との絆がますます深まることを願っています」と感想を語った。

セミナーには県内の眼科医を中心に65人が参加した。終了後には情報交換会が催され、活発な意見交換が行われた。

セミナーには県内の眼科医を中心に65人が参加した。終了後には情報交換会が催され、活発な意見交換が行われた。

セミナーには県内の眼科医を中心に65人が参加した。終了後には情報交換会が催され、活発な意見交換が行われた。

セミナーには県内の眼科医を中心に65人が参加した。終了後には情報交換会が催され、活発な意見交換が行われた。

セミナーには県内の眼科医を中心に65人が参加した。終了後には情報交換会が催され、活発な意見交換が行われた。

セミナーには県内の眼科医を中心に65人が参加した。終了後には情報交換会が催され、活発な意見交換が行われた。

セミナーには県内の眼科医を中心に65人が参加した。終了後には情報交換会が催され、活発な意見交換が行われた。

県内の眼科医をはじめ コメディカルスタッフに参加 第5回松本歯科大学眼科セミナー

5月11日(土)、松本市のアルピコプラザホテルにおいて第5回松本歯科大学眼科セミナーが開催された。

本学眼科学の太田浩一教授が座長を務め、特別講演Ⅰでは自ら「OCT(光干渉断層計)・

続いて特別講演Ⅱでは、本学



講演する相馬教授と座長を務める太田教授(右)

OCTA(光干渉断層血管造影)と眼底自発蛍光のよみかた(基礎編)と題して、講演を行った。

講演会には眼科医だけでなく、視能訓練士や看護師などコメディカルスタッフの参加もあった。

相馬教授は、当院にて涙道治療を開始した経緯や、現在涙道外来において行われている検査や治療について紹介し、「涙道は耳鼻科と眼科の双方が関わる領域。必要があればいつでもご相談下さい」と話された。

眼科学 助教 千田奈実

名画で楽しむギリシア神話(26)

オデッセイア ②

一つ目巨人の島

オデッセウスもギリシアの諸将と同様に、船隊12隻に戦利品を山積みにして、部下たちと帰国の途についた。彼らの母国イタケ島はペロポネソス半島を一周した先のイオニア海にあり、ギリシア諸国のなかで最も遠い。

ロータスイーターの島

霧にまかれて他国の船団とはぐれてしまったオデッセウスたちは、ようやく一つの島に辿り着いた。偵察に上陸した乗組員に、住民は彼らが常食にしているロータスという木の実を振舞ってくれたが、これには過去を忘れさせる麻薬のような作用があった。気づいたオデッセウスは、急いで島を離れた。

逃げようとしても無駄だ」と宣告した。オデッセウスは恭順な態度を示し、持参していたワイン樽を差し出してポリュペモスに飲ませた。それが気に入った巨人は「お前を食べるのは最後にしてやる」と言い、名前を尋ねたので、彼は「ウーティス(誰でもないの意)」と名乗った。

ポリュペモスが生まれて初めて飲んだワインに酔い潰れて眠り込んだ隙に、オデッセウスたちは先を尖らせて真っ赤に焼いた丸太を、巨人の一つしかない目に力一杯突き立てた(図2)。

物凄悲鳴を聞きつけたキュクロプスたちが集まってきたが、「誰にやられた」と聞かれても「ウーティス」と答えるばかりでは、仲間たちも帰っていった。翌朝ヒツジを外に出すときも、人間を逃げ出させまいと、ポリュペモスが一頭ずつ手で触つて



図1: その洞窟は恐ろしい一つ目巨人の住みだだった。



図2: 酔い潰れた巨人の目を潰した。



図3: 脱出に成功したオデッセウスは怒り狂う巨人を嘲笑した。

体連・文連合同総会 決算報告、役員等を承認 規則を守って楽しい学生生活を

続いて、韓国語愛好会の廃部について審議され、創部した部員や韓国語を教えていた留学生在が在学していないことを理由に承認された。また、本年度の体育祭実行委員長および来年度の松濤祭実行委員長に町野君が選出され、承認された。町野君は第29回体育祭と第34回大学祭「松濤祭」でも実行委員長として活躍。2年連続で同じ学生が体育祭と松濤祭の実行委員長を務めるのは初となる。町野君は挨拶で、「前年度の経験を生かしてさらに盛り上がる企画を用意し、参加して楽しいと思えるようなイベントとなるようがんばります」と抱負を述べた。

MTBペタリング 随想記 久しぶりにドイツに行ってきた。トランジットや車での通過は毎年何回もありますが、遠征で滞在するのは1997年以来、約20年ぶりのことです。今回は1週間という短期間でしたが、大寒波がヨーロッパ全土を襲った前回は、凍えながら約2カ月間、冬のベルリンに滞在しました。 朝起きてキッチンの凍った窓ガラスを擦り、外の温度計をチェックして一喜一憂していたの覚えています。マイナス10℃は当たり前で、寒い日にはマイナス15℃にもなりました。寒くて、日本から持ち込んだバイクジャージをすべて着込んで約3時間のトレーニングに出かけていたのですが、当時はそんな寒さで走ったことはなく、装備もまったく通用しませんでした。帰宅時には体が芯から冷え切っています。家の鍵を取り出すのにも一苦労で、時には片手で解錠できないほど疲労困憊でした。そのような状況であったという間に心も痩せ、憔悴していきました。 そして1週間か10日か定かではありませんが、渡独してからまだ日が浅いトレーニング中、ついにノックダウンしました。森の中で寒さに負け、凍えてまったく動けなくなりました。そのとき一緒にトレーニングしていた仲間たちが、それぞれウインドブレーカーや温かい飲み物を差し出してくれたり、体を抱いて擦ってくれたり、さらには家まで付き添ってくれてバススタブにお湯を張るなどして助けてくれました。(次号へ続く)

アジア環太平洋骨粗鬆症コンソーシアム会議 骨粗鬆症の予防と治療に関するガイダンスを策定



会議に出席した各国の代表ら (2列目左端が筆者)

長として、シンガポールの「Marriott Hotel」において開催された。骨粗鬆症性骨折は世界中で増加しているが、その中心はアジア環太平洋地区であり、40年には世界の半分の骨折はアジア地区で発生すると予測されている。本会議ではアジア環太平洋地区のガイドラインを総括し、国際骨粗鬆症財団と欧州骨粗鬆症学会が行ったような統一ガイダンスを策定した。

2019年から22年(第一期) および25年(第二期) までのアジア環太平洋地区の骨粗鬆症の予防と治療に関する統一ガイダンスの策定を目的とした、アジア環太平洋骨粗鬆症コン

ソシアム会議(Asian Pacific Consortium on Osteoporosis: APCO) が5月4日(土)、Dr. Paul Mitchell(ニュージランド) および Dr. Manju Chandran(シンガポール) を議

策定されたガイダンスは、骨粗鬆症専門誌 Osteoporosis International に19年度中に掲載される予定である。また、本会議の概要は国際骨粗鬆症財団のウェブサイトに5月16日に掲載された。 http://iobonehealth.org/news/launch-asia-pacific-consortium-osteoporosis (歯科放射線学講座 教授 田口明)

基本ルールを守り事故防止を呼びかけ

交通安全講習会

交通安全と生活および防犯等に関する交通安全講習会が4月17日(水)、本館7階講堂において開催された。

警察署員の渡澤竜一交通課長、西澤周作生活安全課係長、後藤義広警備課長の3人を迎え、歯学部・衛生学院の学生470人が聴講した。

渡澤交通課長は、飲酒運転の危険性を説明し、車輜提供者や酒類の提供者、同乗者も厳罰に処せられることなども話し、特に大学祭などで盛り上がった勢



学生で満員となった講堂

いに流されずに正しい判断をするよう要請した。さらに自動車

運動時の留意点として、前方の危険や注意しなければならぬ状況を事前に知らせる路面標示を例に挙げ、交差点(横断歩道)にさしかかる場合は歩行者に十分注意して、安全運転を心がけ事故を防ぐよう強調した。

続いて西澤生活安全課係長はインターネットを安全・安心に利用するためにパスワードなどを適切に設定・管理し、セキュリティの強化に努めるよう指導した。

呼びかけた。最後に宇田川信之歯学部長が「本講習会で学んだことを忘れず、万全の注意を払って生活してください」とまとめた。学生らは真剣に耳を傾け、安全な生活を送るためのさまざまな注意点を再確認した。



抱負を述べる町野君

講習会終了後、受講した学生一人ひとりに講習修了証が手渡された。

病院だより vol.10

シリーズ専門性⑤

口腔癌

治らない口内炎は要注意!

「がん」で、舌、歯肉(歯ぐき)、口底(舌の下)などに多くみられます。口腔がんは全身のがんの中の1%程度で、60歳代、男性に多いと言われていますが、近年罹患数は増加傾向にあります。また、わが国では罹患すると死亡率が高い傾向があります。



写真1: 舌がん



写真2: 初期の舌がん



写真3: 口内炎

口腔がんの症状は発生する部位や進行度によってさまざま、粘膜が白色、赤色、あるいは白色と赤色が混在するもの、しこり、潰瘍、などがあります(写真1)。口腔がんの初期は痛みなどの症状はほとんどないため、自分でも気づかない場合も多く、一見すると口内炎のようにも見えます。見た目で口内炎と区別することは大変難しい場合も多いです(写真2)。口内炎(写真3)は、疲労、ストレス、外的刺激などが誘因となって発生し、たいていは強い

疼痛を伴いますが、刺激の除去やうがい、軟膏塗布など適切な処置により1週間から10日程度で治癒します。そのため、口内炎がなかなか治らない場合は口腔がんの可能性もあるため、口腔外科専門医の診察を受けることが重要です。診断には、お口の中を「見て、触って」という診察は必須ですが、それだけで判断がつきにくい場合も多く、最終的には細胞診(細胞レベル)、生検(組織レベル)の顕微鏡検査によって診断をつけます。

口腔がんの治療は手術、放射線治療、抗がん剤治療の組み合わせが用いられますが、手術が主体になる場合が多く、進行がんで、単にがんを取り除くだけでなく、切除により失われた組織を補う再建手術が必要になります。特に口腔には、食べる、飲む、話すといった大切な機能があるので、それらの機能を回復させるためにも再建手術が必要で、しかしながら早期がんの場合、がん組織を切除するだけの低侵襲で術後の機能障害もほとんどない手術となり、がんの再発や転移のリスクも低い傾向にあります。

そのため口腔がんは早期発見が大変重要で、特に初期では口内炎と見分けが付きにくいだけに、治らない口内炎があるときには口腔外科の受診が大切です。(口腔顎顔面外科学講座 教授 芳澤孝子)

第1回FD研修会

実践研修で積極的な意見交換 CBT問題作成ワークショップ

5月11日(土)、創立30年記念棟会議室において、2019年度第1回FD研修会「共用試験CBT試験問題作成のためのワークショップ」が開催され、各講座から本年度初めてCBT問題作成にかかわる若手からベテランの先生まで約30人が参加した。

本ワークショップは、CBT問題の作成技術と採択率の向上を目的とした実践研修として、毎年この時期に実施されている。はじめに、共用試験実施評価機構から歯学系CBT講習会タスクフォースとして来学いただいた森田学先生(岡山大学)から、CBT問題作成について全体的な説明と、昨年度本学から提出された試験問題のうち残念ながら不採択となったものを例に具体的な注意点について解説いただいた。



問題のブラッシュアップを行う参加者

次に、参加者は3班に分かれ、各講座から提出された試験問題について討論を行った。その後、各班で検討した試験問題を持ち寄り、参加者全員による再検討が行われた。

(口腔解剖学講座 教授 平賀 徹)



宮澤先生の講演を熱心に聴講する参加者

宮澤英樹先生(諏訪赤十字病院 特殊外科口腔外科部長)は「諏訪赤十字病院における歯科診療連携の取り組みとその課題」というタイトルで、骨吸収抑制剤による顎骨骨髄炎の発症に対する

次に、参加者は3班に分かれ、各講座から提出された試験問題について討論を行った。その後、各班で検討した試験問題を持ち寄り、参加者全員による再検討が行われた。

本ワークショップは、CBT問題の作成技術と採択率の向上を目的とした実践研修として、毎年この時期に実施されている。はじめに、共用試験実施評価機構から歯学系CBT講習会タスクフォースとして来学いただいた森田学先生(岡山大学)から、CBT問題作成について全体的な説明と、昨年度本学から提出された試験問題のうち残念ながら不採択となったものを例に具体的な注意点について解説いただいた。

(水泳部顧問 教授 川原 一郎)

“微笑みの国タイ”より「サワディーカー(こんにちわ)!!」 空軍中佐パカモン・ラタナポン先生が病院研修



羽鳥教授(筆者)の診療を見学するパカモン先生

4月1日(月)から6月30日(日)まで、タイ王国空軍病院より、空軍中佐のパカモン・ラタナポン先生(愛称はプロイさん)が勤務先の海外研修制度を利用して、本学病院総合口腔診療部門(補綴科)で研修を行っている。専門は歯科補綴学、口腔インプラント学、顎顔面補綴学、高齢者歯科学で、補綴歯科治療を基盤に多岐にわたり活躍されている。

パカモン先生は、タイの名門チュラロンコン大学歯学部を卒業後、タイ王国空軍病院に勤務されている。2回目の来日だが、初めての長野県そして家族と離ればなれということで、当初は少し心細かったようだ。パカモン先生が日本の歯科診療で驚いたことが2点あり、1点目はほとんどの歯科治療が保険で行われていること、2点目は日本の患者さんは高齢で元気に歯科治療(インプラント治療までも)を受診されていることである。タイでの歯科治療は保険がきかないため高額であり、富裕層以外は受診できないそう

松本ボーンフォーラムの後継 第1回信州骨代謝多職種セミナー開催

新緑が美しい5月17日(金)、第1回信州骨代謝多職種セミナーが信州大学医学部において開催された。本セミナーは、17年間開催されてきた松本ボーンフォーラムの後継として設立された。白木正孝先生(成人病診療研究所所長)と、本学口腔生化学講座の宇田川信之教授が代表世話人となり、本学からは小澤英浩名誉教授、田口明教授、小林泰浩教授らが世話人として、運営・開催されることとなった。

今回は、特別講演と招待講演の合計4演題が企画され、80人以上の研究者や医療従事者および学部・大学院の学生などが参加した。特別講演では、澤口毅先生

また招待講演として、本間雅先生(東京大学医学部附属病院 薬剤部講師)より「骨代謝におけるRANKL逆シグナルの役割」についての講演があり、骨吸収と骨形成のカップリングメカニズムを説明する最新の研究成果が発表された。

宮澤英樹先生(諏訪赤十字病院 特殊外科口腔外科部長)は「諏訪赤十字病院における歯科診療連携の取り組みとその課題」というタイトルで、骨吸収抑制剤による顎骨骨髄炎の発症に対する

料も豊富で非常に恵まれた歯科診療環境であると感心していた。このように海外の歯科診療事情を伺えたことは自身の勉強にもつながった。

パカモン先生は、白雪残るアルプスの山並み、五重天守の勇姿を誇る松本城、そして本学に

咲き誇る桜の美しさに感銘を受け、また黄金週間にはタイよりご家族が来日され、富士山近辺を訪問し、その美しさにも感動したそう。

さて研修も残り1カ月となり、私としてはどれだけパカモン先生のご要望・ご期待に添えられ

たか不明だが、何か一つでも習得していただければと期待する。そして今回の研修がやがて結実し、本学病院がタイ国内において人気研修先となり、歯科診療を介しての活発な国際交流の場となることを切に願う。

(歯科補綴学講座 教授 羽鳥弘毅)

水泳部が地域の体育文化継承に貢献

日本泳法神伝流研修会



古式泳法神伝流を体験する参加者

5月19日(日)、体育館とプールにおいて、本学水泳部と日本泳法神伝流松本同好会主催による日本泳法神伝流研修会が開催され、本学水泳部員、信州大学水泳部員に加えて一般市民など35人が受講した。

松本城を擁する中信地区には武術泳法の神伝流が伝わっているが、近年は継承者の減少により貴重な文化が失われる危機にある。水泳部は、地域の体育文化の発展と継承に積極的に協力する精神から、本研修会を企画した。

講師に日本水泳連盟日本泳法委員会の土屋守史さんを招き、神伝流の発祥から現在に至るまでの歴史と泳法の特徴について講演していただいた。

実技では、水面から体を上下させないことや、足首から力を抜いて膝から水を蹴るなど足の使い方が競泳とは違うことを体感した。参加者は慣れない動きに戸惑い、難しいと感じながらも、楽しく体験することができた。

25人が1年間の臨床研修をスタート

病院臨床研修許可証授与式

平成最後となる病院臨床研修許可証授与式が4月1日(月)、図書会館学生ホールにおいて行われた。

まず臨床研修歯科医25人がそれぞれ呼名を受け、黒岩昭弘研修管理委員長から研修許可証を受領した。



黒岩研修管理委員長より研修許可証を手渡される研修歯科医師

9~12月に出向するプログラムⅡ(責任者・大須賀直人教授)が5人となっている。また研修管理副委員長として、山本昭夫教授、安西正明教授と森啓准教授が就任し、手厚い臨床研修指導体制が構築された。

4月は3日間のオリエンテーションの後、相互口腔内診査・

本学特設会場の特産ワインと料理を提供

塩尻ワイナリーフェスタ2019

2005年にスタートし15回を数える塩尻市の恒例イベント「塩尻ワイナリーフェスタ2019」が、5月18日(土)・19日(日)の両日開催され、2日間で5700人が参加して盛大に行われた。

ワイナリー9社および塩尻志

診察演習・カルテ入力システム研修・リスクマネージメント講習・医療安全対策講習・麻酔研修・指導歯科医の診療見学等を経て初診業務に携わり、5月から主指導歯科医を決定して保険医登録を終了した研修歯科医が1口腔単位の患者研修を行う。

研修には症例検討会や各種セ



ワイン愛飲家で賑わう図書会館特設会場

受験生の皆さんへ

一日体験入学

① 6月30日(日) ② 7月15日(月・祝)
③ 7月21日(日) ④ 7月28日(日)

※6・7月開催のみ掲載

開催時間 9:40~15:00 (受付 9:15~)

●キャンパスツアー ●ランチ体験
●模擬実習 ●入試説明・進学相談 など

※参加希望の方は、本学ホームページまたは下記までご連絡ください。

お問い合わせ

HOT LINE 0263-54-3210
松本歯科大学 入試広報室
www.mdu.ac.jp

Alumni News

松本歯科大学校友会

静岡県支部 地域連携歯科学講座・小笠原 正教授が講演 「食べるを支援 - 口腔機能低下症」

ルフレイル、海外ではフレイトーリと言いますが日本ではフレイルと言われ、虚弱を放置すれば体が弱くなり介護される様になってしまふので、健康管理にいかにか口腔機能が大切かを解説された。口の衰えが死亡リスクを高くするので歯科の役割が大事で、要介護者の免疫能の維持・QOLの維持・咀嚼嚥下ができ

3月10日(日)、静岡市葵区のクーパーホール会館において、支部総会および本学より地域連携歯科学講座・小笠原 正教授をお招きし、「食べるを支援 - 口腔機能低下症/食べられない人へのケア」を演題として講演いただきました。

総会に先立ち松田美代子支部長(6期生)より静岡県支部の校友会旗のお披露目がありました。講演で小笠原教授は、オーラ



小笠原教授(前列中央)を囲む静岡県支部会員

「歯科感染に関する注意点」講演会開催

3月10日(日)、第4回桔梗の会が名古屋にて開催され、小雨降る寒い日にもかかわらず、中部地区を中心に2期生、28期生までの10人の女性歯科医師が集まりました。

最初に、メディア株式会社感染管理部の藤田和巨様の「歯科感染に関する注意点」と題した講演が行われました。

日ごろ何気なく行っている診療室のなかの滅菌・消毒について実験を交えて分かりやすく講演していただきました。特に消毒・滅菌の前の洗浄の大切さ、洗浄により血液等のタンパク質成分を除去することの重要性は

「桔梗の会(女性歯科医師の会) 診療室での滅菌・消毒を見直すきっかけに」

3月10日(日)、第4回桔梗の会が名古屋にて開催され、小雨降る寒い日にもかかわらず、中部地区を中心に2期生、28期生までの10人の女性歯科医師が集まりました。

最初に、メディア株式会社感染管理部の藤田和巨様の「歯科感染に関する注意点」と題した講演が行われました。

日ごろ何気なく行っている診療室のなかの滅菌・消毒について実験を交えて分かりやすく講演していただきました。特に消毒・滅菌の前の洗浄の大切さ、洗浄により血液等のタンパク質成分を除去することの重要性は

「桔梗の会(女性歯科医師の会) 診療室での滅菌・消毒を見直すきっかけに」

3月10日(日)、第4回桔梗の会が名古屋にて開催され、小雨降る寒い日にもかかわらず、中部地区を中心に2期生、28期生までの10人の女性歯科医師が集まりました。

最初に、メディア株式会社感染管理部の藤田和巨様の「歯科感染に関する注意点」と題した講演が行われました。

日ごろ何気なく行っている診療室のなかの滅菌・消毒について実験を交えて分かりやすく講演していただきました。特に消毒・滅菌の前の洗浄の大切さ、洗浄により血液等のタンパク質成分を除去することの重要性は

「桔梗の会(女性歯科医師の会) 診療室での滅菌・消毒を見直すきっかけに」

3月10日(日)、第4回桔梗の会が名古屋にて開催され、小雨降る寒い日にもかかわらず、中部地区を中心に2期生、28期生までの10人の女性歯科医師が集まりました。

最初に、メディア株式会社感染管理部の藤田和巨様の「歯科感染に関する注意点」と題した講演が行われました。

日ごろ何気なく行っている診療室のなかの滅菌・消毒について実験を交えて分かりやすく講演していただきました。特に消毒・滅菌の前の洗浄の大切さ、洗浄により血液等のタンパク質成分を除去することの重要性は

「桔梗の会(女性歯科医師の会) 診療室での滅菌・消毒を見直すきっかけに」

3月10日(日)、第4回桔梗の会が名古屋にて開催され、小雨降る寒い日にもかかわらず、中部地区を中心に2期生、28期生までの10人の女性歯科医師が集まりました。

最初に、メディア株式会社感染管理部の藤田和巨様の「歯科感染に関する注意点」と題した講演が行われました。

日ごろ何気なく行っている診療室のなかの滅菌・消毒について実験を交えて分かりやすく講演していただきました。特に消毒・滅菌の前の洗浄の大切さ、洗浄により血液等のタンパク質成分を除去することの重要性は



桔梗の会に参加した女性歯科医師ら

「桔梗の会(女性歯科医師の会) 診療室での滅菌・消毒を見直すきっかけに」

3月10日(日)、第4回桔梗の会が名古屋にて開催され、小雨降る寒い日にもかかわらず、中部地区を中心に2期生、28期生までの10人の女性歯科医師が集まりました。

最初に、メディア株式会社感染管理部の藤田和巨様の「歯科感染に関する注意点」と題した講演が行われました。

日ごろ何気なく行っている診療室のなかの滅菌・消毒について実験を交えて分かりやすく講演していただきました。特に消毒・滅菌の前の洗浄の大切さ、洗浄により血液等のタンパク質成分を除去することの重要性は

「桔梗の会(女性歯科医師の会) 診療室での滅菌・消毒を見直すきっかけに」

3月10日(日)、第4回桔梗の会が名古屋にて開催され、小雨降る寒い日にもかかわらず、中部地区を中心に2期生、28期生までの10人の女性歯科医師が集まりました。

最初に、メディア株式会社感染管理部の藤田和巨様の「歯科感染に関する注意点」と題した講演が行われました。

日ごろ何気なく行っている診療室のなかの滅菌・消毒について実験を交えて分かりやすく講演していただきました。特に消毒・滅菌の前の洗浄の大切さ、洗浄により血液等のタンパク質成分を除去することの重要性は

Economic News

内外の経済 5月30日付

東京外国為替相場と各国定期預金金利 (3カ月物)

米ドル	110.65円	0.20%
英ポンド	139.49円	0.10%
スイスフラン	109.78円	0.01%
ユーロ	123.17円	0.01%
タイバツ	3.53円	0.10%
日本円	—	0.01%

(SMBC 信託銀行HP等より)

6月行事予定

6日(木) 諏訪社・稲荷社例祭

8日(土) 第46回解剖諸霊位慰霊祭

10日(月) 第46回実験動物供養祭

24日(月) I期試験 第5学年

26日(水) 大学院発表会

30日(日) 一日体験入学(歯学部)

「認知症疾患の特徴と摂食嚥下」

昨年の12月14日(金)、国立精神・神経医療研究センター嚥下障害リサーチセンターセンター長・同センター神経内科医長の山本敏之先生を講師にお迎えし、「認知症疾患の特徴と摂食嚥下」という演題で大学院セミナーが開催された。

認知症の原因となる疾患はさまざまですが、認知症高齢者はしばしば高次脳機能障害を背景とした摂食行動障害や嚥下先行期の異常を認める。しかしながら疾患によっては嚥下に関する機能障害が現れ、嚥下造影検査や嚥下内視鏡で異常所見を認めることがある。認知症高齢者の摂食嚥下の疾患の病態、摂食嚥下障害の特徴を知り、それに合わせた対応が必要となる。

山本先生は、認知症疾患の特徴とその摂食嚥下障害の特徴を疾患別に動画も交え、分かりやすく解説された。

レビー小体型認知症やパーキンソン病の原因となる神経細胞

人事異動

4月30日付 阿部 友貴 事務局長補佐(事務局長補佐)

5月6日付 DAVID CARLSON (教授(歯部英語))

4月30日付 鈴木 絵梨 事務局長補佐(事務局長補佐)

5月1日付 塚原 美穂 (看護師室長(契約職員))

5月7日付 岡村 楓子 (歯学部学生支援室長(契約職員))